2026年11月12日発行　第７７６号

◆◇◆◇◆――――――――――――――――――――――――――――――◆◇◆◇◆

＊＊舩井メールクラブ＊＊

Ｄｒ．コパの２０２７年開運風水

◆◇◆◇◆――――――――――――――――――――――――――――――◆◇◆◇◆

今回の執筆者：Ｄｒ．コパ（ドクター　コパ）さん（一級建築士、
神職（石見一ノ宮物部神社）　他）
（Ｄｒ．コパさんの詳しいプロフィールは文末にあります。）

＊　　＊　　＊　　＊　　＊

こんにちは。ドクターコパです。
今年もこの機会をいただきましてありがとうございます。

すい臓がんと診断されたのは、2024年の７月。「３年生存率８％」と言われ、主治医や医者の次男からは「余命５００日」と言われました。
単純に考えれば、翌年２０２５年の１１月前後です。私自身の運気を風水のバイオリズムで観るとここ数年でこの時期が最低の運気。何があってもおかしくないのです。「死ぬなら来年２０２５年の１１月」と覚悟は決めて治療にあたりました。

すい臓がんは抗がん剤と重粒子線治療で２０２５年２月の節分までは順調に押さえつけることができてこれならと思っていた矢先、３月３日早朝自宅の寝室で転んで右大腿骨上部骨折し救急車で搬送され、抗がん剤治療は２か月中止。
５月にすい臓がんの主治医の検査を受け癌が力を復活して発見時よりさらに悪くステージ４で、このままなら余命半年、と宣言されました。
半年というと、運気のバイオリズムが最悪の１１月です。
夏から秋にかけて癌マーカーの数値はどんどん悪くなっていきます。
食事はとれない、食べても味がわからず「苦い」だけ。体重もどんどん落ちていきました。

それでも夏、秋はこれが最後かも、と思いながら、北海道のサラブレットのセリにキャンピングカーをレンタルして参加しましたから、「コパさん、元気だなぁ」と周囲には思われていましたし、SNSのライブ配信もせっせとやっており、画面を通しては意外と元気そうに見えていたようです。

ラブミーチャン号の銅像が笠松町役場に建立する式典が２０２５年１１月５日に行われることが決まっていましたから、この日には何とか参加したいと切実に思っていました。
この一週間前から「最後の治療をします」「これがだめなら・・・」と主治医からの話しがあり、昨年１０月末から治療が始まっていました。
この治療はかなりつらくて副作用もきついものでした。笠松の式典に参加した後の一か月はどうやって暮らしていたのか、思い出せないほどです。
２０２５年１１月２４日物部神社の鎮魂祈願祭の夜、私は銀座三宅宮で鎮魂祭の遥拝のお祭りをしました。
「神様、これが最後の祝詞奏上になるかもしれません」とつぶやいたほどで、体力、気力の限界でした。

が、「命を甦らせる物部の神様」です。命のシナリオが頭に浮かびました。２０２６年の節分まで生きれば、３月からは新しい命が始まる、と。
そしてそのための健康・金運強化スケジュールを作りました。
１２月に行う金運＆健康風水、冬至の風水、年越しの大祓い、正月のお祭り、そして１月１５日の１１５記念日、大寒・・・と２０２５年１１月から今年の節分、立春までの健康＆金運風水を考えました。

そして私一人だけでは続かないかもしれない、と考え、SNS のライブで金運爆上げ風水として皆様と一緒に実践してきました。
金運が下がると身体を守るバリアが弱くなり、結界が解かれます。すると健康をはじめとしてさまざまな運気が下がります。
金運アップは最も大切な健康アクションでもあります。
さて、私ですが、金運爆上げ風水のおかげで、無事に節分、立春まで命を長らえることができました。
その後、すい臓がんのマーカーも主治医がびっくりするほど回復傾向に。
２０２６年３月、４月、５月と数値はどんどん良くなり、正常値内におさまり、抗がん剤投与も今年の３月半ばからは中止し、別の治療をしています。
先日の検査でも数値は正常値内。すい臓にあるガンが消えたわけではありませんが、うまく抑え込んでいる状態です。
抗がん剤をやめたら体は楽ですし、食事はおいしい、そして少しですがお酒もたしなめるようになりました。
何より、３月になったら参宮、山陰の神様参拝、石垣島、北海道場産地に行く、という目標を立てていましたが、それが実現でき、４月には門別競馬場、５月には高知、金沢など泊りがけで旅行もできました。５月には銀座のクラブにも出かけることができ同伴した主

治医はじめお世話になった先生方からは
「昨年（２０２５年）１１月はもうだめと主治医の私や治療にあたっていた医師たちはみな思っていました。よく回復してきましたね。一番驚いたのは１１月に死ななければ来年の２月以降一気に健康は回復する、とコパさんが話していたことです。その通りになりましたね。風水の先生だから自分の寿命を予見できるのですか？」
と、不思議そうな顔をされお話しされました。
夏から秋にかけても北海道や熊野三山、京都や奈良の神社などにも行くことができました。

3 年生存率 8 パーセントと言われたその 3 年まであと数か月。今は元気に過ごしており、まだまだ大丈夫。
執筆や講演、ラジオの出演や収録、さらにＳＮＳでの配信など罹患前と変わらず出来ていることに感謝ですね。

さて私ごとが少し長くなりましたが、今回は 2027 年の風水、環境についてお話しさせていただきます。

まず世界全体をみると、多くの問題に直面しています。まず石油を含めた中東の問題。今後進んでいく方向がいまだみえません。また戦争が続くロシアとウクライナ・・・。

我が国に目を移すと、サイバー攻撃を受け、情報漏洩が後を絶ちません。移民問題も見過ごすことはできません。ウイルスに関するワクチンの問題もありますし、経済面においても問題が山積み。２０２７年４月より食料品の消費税率が２年間に限定し１パーセントに引き下げられる方針は掲げられていますが、これについても様々影響があると思っています。

ワクチンについては、私自身はコロナ禍でもワクチン接種は避けました。今後もワクチンを打つつもりはありません。
様々な見解がおありだと思いますから、自分の身体のことです。ワクチンについては言われるがままでなく、もっと冷静になってとらえてもいいように思います。
サイバー攻撃については、昨年 10 月頃から、一般にも表面化してきました。金融機関やライフラインがサイバー攻撃で標的にされると社会生活に大きく影響します。
通信販売で売り上げを伸ばしている企業が売上がガクンと落ち込んだという話しも聞きます。
仮想通貨などの見直しも必要になります。仮想通貨をお使いの方も多いと思いますが、しっかりチェックをしてただ外部から流れてきている情報を鵜呑みにせず、自分でとりうる

上限の情報を得て、取捨選択をし、自らしっかり判断していかなければいけません。

消費税の問題ですが、にわとりとたまごの問題になりますが、税率を下げずに税収入を高めて国民を救うのか、または税率を下げて国民の懐に蓄えを残して消費させ、税収につなげていくのか。
私個人的には税率が下がることによって消費量が増え、納税額も減ることはないと考えています。国民の生活を豊かに、国民の財布に資金を残して購買意欲を上げ、税収を上げていく方法が良いとは思います。あくまでもこれは個人の意見です。
様々な意見がおありでしょうが、財務省の意見に関しては少しおかしいのではないか、また財務関係に携わる議員の意見も理解しがたいものです。

（※この続きは、【舩井メールクラブ】の会員様サイトからお読みいただけます）

《今回の執筆者：Ｄｒ．コパさんのプロフィール》

●Ｄｒ．コパ（ドクター　コパ）●

一級建築士、神職（石見一ノ宮物部神社）、愛知工業大学客員教授
１９４７年生まれ。本名「小林祥晃（こばやしさちあき）」。
日本大学理工学部建築学科卒。日本中央競馬会馬主。
東京馬主会＆日本馬主協会連合会　理事。日本に古くから伝わる風水をわかりやすく説明し、「西に黄色」で一般家庭に絶大な人気を得る。明るいキャラクターと、実際に経営者としての成功実績などから講演会や寄稿の依頼を多数受ける。毎年発表されるラッキーカラーやラッキーフード、干支の置物などはすべての業種に影響を与える指針となっている。風水で夢を叶え、「どれだけ幸せになれるか？」を自らが実践している。

★Ｄｒ．コパの開運道場： https://www.youtube.com/@Dr.c0pa
